

経営探訪

秋田ファイブワン工業株式会社

ものづくりとは人づくり
秋田が誇るMADE IN JAPAN

MANAGEMENT REPORT



秋田ファイブワン工業株式会社
〒010-0975
秋田県秋田市八橋字下八橋191-29
<http://www.a-fiveone.co.jp/>

取締役会長
佐賀 善美
さが よしみ

- 創業 / 1973年
- 従業員数 / 80名
- 業務内容 / 紳士服、婦人服の製造加工 (メンズ50%・レディース50%)・スーツ、ジャケット、コート、カジュアル、スカート、パンツ等



日本のトップブランド品を、“秋田”から

衣料品の国内生産比率はわずか2%というアパレル業界で、MADE IN JAPANにこだわり、確かな品質と技術力でその名を馳せる秋田ファイブワン工業株式会社。1973年に秋田県の誘致企業「ファイブワン工業秋田工場」として創業し、2年後に独立。メンズ、レディースの高級ジャケット・コートを主力とし、これまで100社以上のOEM生産を手掛けている。現在の取引先は20ブランド以上に及び、いずれも日本を代表するトップブランドばかりだ。

「常に最先端のブランドと取引することで技術の研鑽を積み、高級ブランド品を自らの手で作り出しているという社員のモチベーションにもつながっています。伝統的な知識や技術をベースに、最新の技術と感性を付加していくことで、どんなオーダーにも、一人ひとりが常に改善と工夫をしながら、高感度かつ高品質なものづくりが出来るのが当社の強みです」と語るのは佐賀善美会長。

企業理念は“ヒューマン・ファクトリー”。「人が企業を創る」という考えから、何よりも“人”の育成に力を注いでいる。

「考える技術集団」であるために

同社は、高い技術力と多品種小ロットの生産体制を強みとして、厳しい時代を乗り越えてきた。国内の景気がどん底だった90年代後半、佐賀会長は、老朽化した工場を建て替えて秋田に残るか、海外に移転するかを判断を迫られていたという。そんな中、秋田の企業として生き残る覚悟を決めたきっかけは、外部の専門家を招いての「カイゼン活動」だった。自ら率先しての清掃から始め、モノの整理整頓やゴミを出さない工夫などの「5S」を徹底、レイアウト変更により作業工程の無駄を省き効率化を進めた結果、一年後には社内の意識が変わり、工場の生産性が格段に向上したという。

企業としての競争力を維持するためには、複数工程を担うことができる多能工社員の育成が不可欠だ。秋田での事業継続を決意した佐賀会長は、次に、MADE IN JAPANクオリティを生み出す要である“人”を育成するため、働きやすい環境づくりに着手した。2000年に竣工した新社屋は、開放感あふれる高い天井と、足腰の負担を軽減するフローリングの床を備え、作業場には有線放送が流れる。残業の軽減や育児休業の完備など、ライフステージ

が変化しても働き続けやすい制度を整え、さらに、現場での気づきや改善点を少人数のワーキンググループで話し合い、「小集団ノート」を通じて提案してもらう取り組みを実践している。

「提案された意見や要望に対しては、上役が必ず回答するのがルールです。誰がいつまでにやるのか、できないならその理由を明確にし、どうしたらできるかを考えます。高い技術力を持つ社員たちに支えられてこそ会社なので、朝礼などでは感謝の気持ちを直接伝えるようところが、常に働く環境と制度を見直しています」。



次の100年を見据えて

コロナ禍は県内縫製業にも大きな打撃を与えているが、苦境に立たされている今だからこそ、「利他の心」を大切にしたいと佐賀会長は行動を起こしている。県アパレル産業振興協議会会長を務める佐賀会長は、アパレルメーカーからの受注が減る中、国内生産需要が高まっている医療用ガウンの受注を県内の同業他社に振り分け、自社は一週間稼働を停止して社員研修の機会を設けた。マスク不足が続いていた5月にはマスクの試作を始め、初めに社員とその家族に配布、後に秋田市に3,000枚を寄付している。

「地域社会と社員があってこそ会社があり、自分があります。今は苦しいときですが、どんな時代でも、高品質でこだわりのあるファッションを求める人は必ずいると思うので、技術力の要である“人”を大切に、挑戦しながら企業価値を高めていきたいです」。

まもなく50周年の節目を迎える同社が見据えるのは、社員と、地域と共に歩む未来。

次の50年、100年に向かって、MADE IN JAPANの挑戦はこれからも続いていく。

1 高い品質と技術。顧客の信頼は厚い。 3 BGMが心地よく響く社内。一般的に思い浮かべるような“製造工場”のイメージはない。
2 設備投資を積極的に行い、生産性を向上させている。 4 「小集団ノート」は誰でも閲覧が可能。